



7月1日(日)に開催いたします「東日本大震災等復興支援あずままつり(第35回バザー)」では、子どもたちの良き思い出となり、保護者の方々や近隣の方々のふれあいの場として楽しく行えます様、多くの皆様のご参加をお待ちしております。開催までにご協力いただく地域の方々、また運営及びお手伝い係の皆様にお大変お手数をおかけしております。こころより感謝申し上げます。さて、梅雨空のはっきりしない天候が続いています。気温の差も激しいのでご家庭でも健康には十分気をつけていただきたいと思います。幼稚園でもお天気の良い日は、できるだけ戸外で遊べるようにして体調を整えて健康には特に留意して保育していきます。

《お知らせ》

- ◆夏休みのたより・夏休みの絵本◆
夏季保育の詳細及び夏休みの過ごし方のおたより及び夏休みの絵本は、終業式の日にお渡しします。
- ◆プール遊び◆
7月、8月のプールの予定日は、予定表のとおりです。その他の詳細については、別紙の「体育プール・水遊び服装について」(あずま平30-69号)をご覧ください。夏は水遊びやどろんこ遊びが多くなりますので、毎日着がえ用のパンツやシャツ、またタオルなどを持たせてください。

- ◆たなばたまつり音楽会◆
6日(金)にたなばたまつり音楽会を行います。詳細につきましては、「たなばたまつり音楽会」開催のお知らせ(平30-106号)をご覧ください。



- ◆年長組「あさがお」持ち帰りについて◆
年長組は、5月より子どもたちが栽培観察している「あさがお」を持ち帰ります。7月25日(水)~26日(木)の間に、ご都合に合わせてお持ち帰り頂き、引き続きご家庭で夏の花をお楽しみください。各自スーパー等のビニール袋をご用意ください。



- ◆防災訓練(引渡訓練)◆
8月29日(水) 14:20 引渡し
災害はいつ訪れるかわかりません。非常時に備え訓練を行います。近隣の小学校とも重なることもありますが、実際の訓練として受け止めていただき、各家庭において、近隣や地域の方との連絡を密にさせていただきますよう宜しくお願いいたします。関係たよりは7/13配布予定です。なお、新里小学校、両新田小学校は6/9に行われました。

布施奉仕の保育

7月の保育のねらいは『布施奉仕 だれにも親切にしよう』です。奉仕については、奉仕活動などと言われるように、自ら進んで社会等に尽くしていくことを指しますが、布施とはどんなことでしょうか。今月は、このことについて一緒に考えてみたいと思います。布施というと金品を施すのみにとられがちですが、もっと深い意味があります。布施は、財力や学力がなくても、優しくすることでも立派に布施をしたこととなります。これを「無財の七施」といい無財とは金銭等では算定できない尊い価値のことをいいます。七施とは下記のとおりです。

眼 施…やさしい眼(好眼)をもって接する。
和顔施…やさしい顔、ほほえみで接する。
語辞施…柔軟なことばで接し、粗悪なことばを与えない。

あたたかいことば。

身 施…身体や動作をもって人に尽くす。
心 施…なごやかな善心で人と接する。思いやり・明るい心
床座施…座席や布団などの敷物をゆずる・ゆずりあい。
房舎施…住む場・心にゆとりを与える。

このことは、その心さえあるなら、どこでも、いつでもいくらでも周囲を豊かにできるでしょう。決して見返りや期待を求めないことが布施です。どちらかといえば、与えるというよりむしろお返しをすると考えてください。赤ちゃんを育てる時、見返りなんてとめませんよね。

キッズサークル費は各利用月毎の振り替えとなりますので、7月・8月のキッズサークル費はそれぞれ別で、翌月に振り替えさせていただきます。

水難事故防止 (6月に引き続きお願い)

夏の出水時期を迎え、河川や水路では子どもの水遊びが多くなってきます。水遊びは幼児期にたいへん興味を持つことから、その事故も絶えません。

このほとんどの原因は家族が目をはなしたすきによるものです。どうかご家庭でもひとりで行ったり、危険なところで遊ばないよう約束をさせてください。

